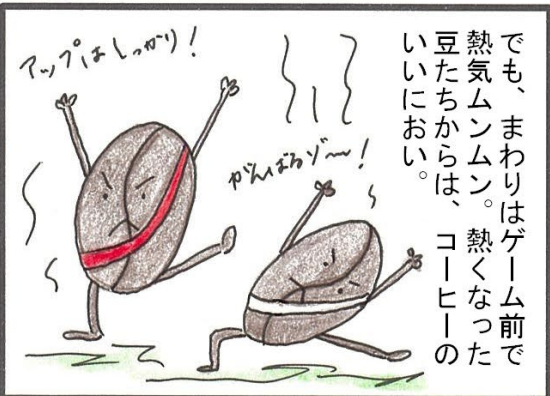
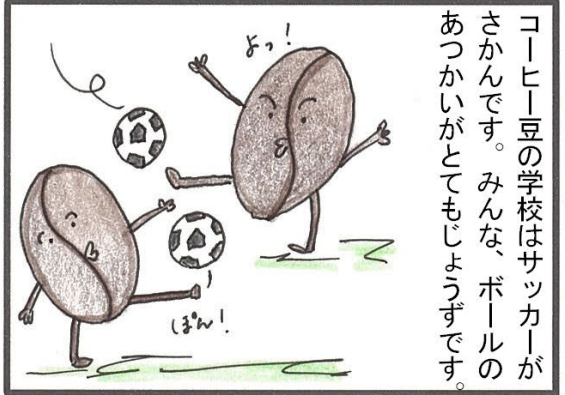
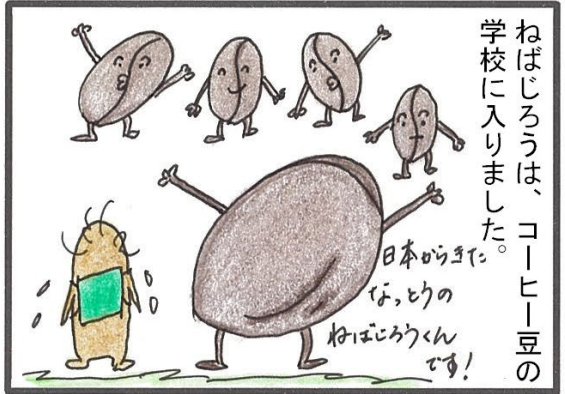
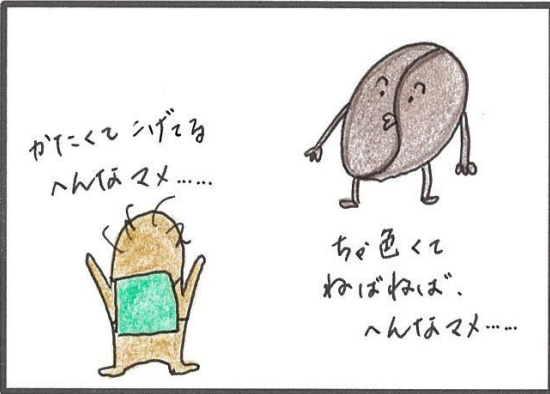
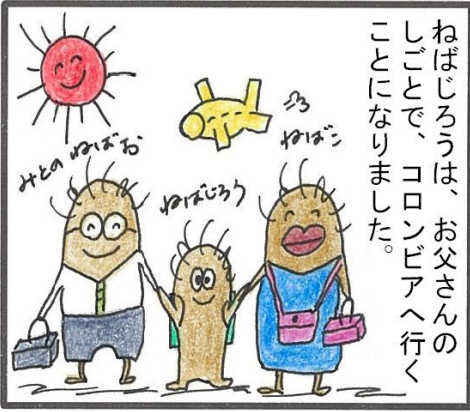


# なっとうねばじろう コロンビアへ行く





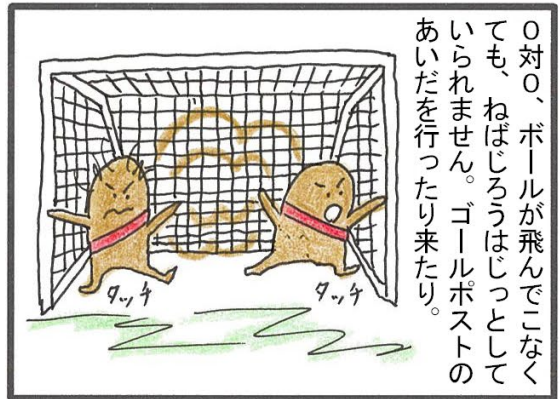
先生は、はりきるねばじろうを見て、ゴールキーパーをさせることにしました。



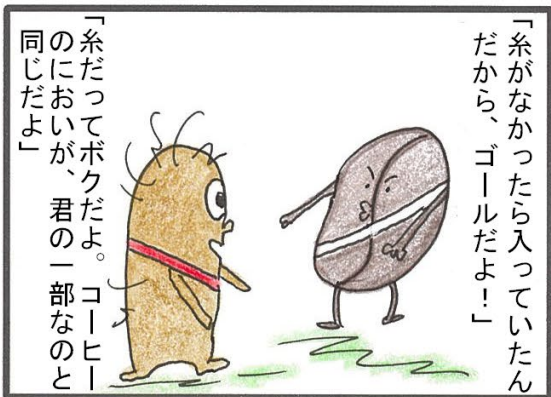
ねばじろうは目がさえてきて、動きまわりたくなりました。コーヒーのにおいで元気になったのです。



とつぜんのシュート!  
ボールが飛んできました!



0対0、ボールが飛んでこなくても、ねばじろうはじっとしていられます。ゴールポストのあいだを行ったり来たり。



「糸だつてボクだよ。コーヒーのにおいが、君の一部なのと同じだよ」

「糸がなかったら入っていたんだから、ゴールだよ!」



ボールはゴールの前でピタリ。ゴールポストを行き来したときについた糸のネバネバがシュートをさえぎったのです。



先生が言いました。